



国際ロータリー 第2780地区 第9グループ
湯河原ロータリークラブ 週報

2023年9月1日(金) 第2933回例会 形式:対面 天候:晴れ
合唱:君が代、それでこそロータリー、四つのテスト



世界に希望を生み出そう

会長 佐藤 友彦 幹事 櫻井 武志

事務所:神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会

TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716 例会場:ニューウェルシティ湯河原 例会日:毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

佐藤 友彦

皆さん、こんにちは。本日より9月となり今年度も2ヶ月が過ぎましたが、病状も安定して例会は勿論の事、会長・幹事会も全て出席しておりますのでこの場をお借りしてご報告致します。

今後も全て出席するつもりですので渡辺副会長にご迷惑を掛けずに1年間、会長職を務められればと思います。

さて、ここ数日、少し時間が取れたので来月に迎える半期の検証と後期の事業計画の修正を行っていました。過去と比較をしつつ現状を把握して先々を予測していく訳ですが、ふと、個人に置き換えても振り返ろうと思ひ、同じような役目を頂いていた10年前と比較をしてみました。自分自身として多少は成長していると思ひきや、具体的に考えると大きな変化は無いようにも感じました。特に思考や精神的には変化を感じず身体的には気持ち少し痩せたかな…。その程度の事です。ただ、病気を患ったのは大きな変化でした。

また、同時に記憶を呼び戻して、現在と10年前の社会情勢についても振り返ってみました。まずは日経平均株価ですが現在は 32000 円から 33000 円程で推移していますが、10年前の年初は約 10000 円でした。その後、年の瀬には 16000 超となりました。また、為替については現在、145円前後であります。当時は85円程度でスタートし5月の連休明けに49年ぶりに1ドル100円に達しました。どちらも要因としては第2次安倍政権でのアベノミクスによるものです。こうして10年を振り返ると非常に大きく変化をした上で今日を迎えています。この先も10月より最低賃金の改定により、1時間当たり1112円となります。企業経営の観点から考えると厳しい現状ではございますが世の流れと受け止めて柔軟に対応していくほか無いのかなとも考えています。企業としては勿論ですが個人としても改めて様々なことを勉強して成長をしないと

いけないと強く感じたので、本日はこのような話をさせて頂きました。本日の例会もよろしくお願い申し上げます。ご挨拶に代えさせて頂きます。ありがとうございました。

幹事報告

国際ロータリー日本事務局より

1.9月のロータリーレート 1ドル146円

連絡事項 無し

スマイルボックス

会員誕生日 深澤昌光君(9/1)

入会記念日 石田浩二君(12年・H23.9.2)

伊藤伸之君

先週25日大事な情報集会欠席しました。

石川博君

私と息子の母校慶応高校が夏の甲子園で107年ぶりに優勝しました。

石川博君

湯河原カンツリー三田会で10年ぶりに優勝しました。

出席報告

ゲスト 1名 ビジター 0名

会員 22名 欠席3名(免除者0名)

出席率 86.36%

前回の修正出席率 95.00%

前々回の修正出席率 68.18%

事前メイクアップ 1名

ゲスト

大橋洋巳 様 (株)LIXIL

皆さまこんにちは。株式会社 LIXIL の大橋と申します。本日はよろしく願い致します。

LIXIL の環境戦略のひとつの取り組みとして、10 月からスタートの「住まいから未来へつなぐプロジェクト」のご紹介をさせていただきます。

「住まいから未来へつなぐプロジェクト」とは、商品の売上台数に応じた金額を、ユニセフを通じて寄付し、気候変動の影響を受ける子どもたちを支援するプロジェクトです。地球温暖化の問題は「気候変動」ではなく「気候危機」とも言われています。地球温暖化により、最悪のシナリオをたどると 2100 年までに最大 5.7℃上昇すると報告されており、地球温暖化による気候変動が原因で、2050 年までにアフリカ、アジア太平洋地域など世界各地で最大 2 億 1,600 万人が住居を追われると予測されています。ユニセフの報告書によると気候変動の影響のきわめて深刻な影響を受けている上位 33 か国で、世界の子どもの約半分の 10 億人が暮らしていると言われています。気候変動には国境がなく、あらゆる国の課題ではありますが、CO₂ をあまり排出していない国や地域の子どもの影響を受けているという現実があります。

そのような状況下においてまず、地球温暖化対策には大きく分けて2つのアクションがあります。1つは「緩和」。気候変動の原因となる CO₂ などの温室効果ガスの排出量を減らす取り組みです。もう1つは「適応」。すでに現れていたり、将来予測される気候変動の影響に対して、被害を最小限に抑えるために「そなえる」取り組みです。地球温暖化対策には、この2つを両輪で進めることが重要です。事業を通じて住まいの快適さを提案するとともに気候変動対策に貢献することができます。しかし、その効果が出るには時間がかかります。

だからこそ、できるだけ早く取り組むことが重要となってきま

す。今、影響を受けている子どもたちのために何ができるでしょうか。LIXIL は、子どもを含むすべての人々の生活の質向上により、SDGs、持続可能な開発目標の達成に貢献するためビジネスパートナーさま、エンドユーザーの皆さまとともにこのプロジェクトをスタートさせます。

このプロジェクトは、23 年 10 月から 12 月の 3 か月間で、CO₂ 削減に寄与する ZEH レベルの省エネ性能の住宅を目指した高断熱の窓・ドア、そして外付け日よけを対象商品とし、1 台ご購入につき 50 円をユニセフを通じて寄付します。高断熱商品による住まいからの CO₂ 排出削減に貢献できる『緩和策』と、気候変動による影響を受ける子どもたちを支援する『適応策』を同時に進めることが可能となり、“気候変動の『緩和』と『適応』”の両方に貢献できるものです。ユニセフを通じておこなう寄付先の用途については使い道は大きく分けて2つあります。低所得国を中心に行う、干ばつや洪水のような災害を受けた地域への「自然災害緊急支援」と、子どもたちへの教育など気候危機に対する適応力と回復力を強化する「気候変動対策支援」です。皆さまにはこのプロジェクトにご賛同いただき、地球と子どもたちの未来の守手(まもりて)となって頂きますようお願い致します。住まいから、未来を担う子どもたちに豊かな環境をつなぐために、ご協力お願い致します。

本日はありがとうございました。



左から渡邊会員、大橋様、佐藤会長、丸塚副幹事